

学習意欲を高める高等学校数学科の授業

～学習過程の振り返りと対話を意識した授業を通して～

福島県立葵高等学校 教諭 羽田 真幸

1 研究の趣旨

新学習指導要領では、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と、これらを活用した思考力、判断力、表現力等の育成とともに、主体的に学習に取り組む態度を養うことがこれまで以上に重視される。また、平成31年度より本格的に利活用される「高校生のための学びの基礎診断」では、基礎学力の確実な習得とともに、学習意欲の喚起を目的として挙げている。

しかし、多くの高校では、知識伝達型の授業にとどまり、基礎学力の定着は図られているが主体的に学習に取り組む態度の育成や学習意欲の喚起には課題があるといえる。

そこで、本研究では、振り返りによる学びの実感と、対話を意識した授業を行うことで学習意欲を高め、主体的に学習へ取り組む生徒を育成したいと考え、以下に述べるような仮説を設定し、本主題に迫った。

数学の授業において、以下の視点に基づいた手だてを講じれば、自身の学習過程を次の学びに生かし学習意欲を高めることができるであろう。

【視点1】 授業の振り返りを工夫し、毎時間の授業をつなぐ

【視点2】 対話的な活動を通して、自己の考えを広げ深める

2 研究の概要

(1) 各視点に基づく手だて

【視点1】に基づく手だて

手だて1：日々の学びを実感する「接続カード」（図1）の活用

手だて2：単元の学びをつなげる「接続カード」の活用

【視点2】に基づく2つの手だて

手だて3：授業のねらいを明確にするペア活動の充実

手だて4：単元の学びを深めるグループ活動の充実

(2) 授業の実践

昨年度の実践において、授業の振り返りと見通しを工夫するために「接続シート」を作成し、毎時間の授業で活用した。「接続シート」は、授業の見通しをもたせるために授業の導入時と、振り返りを行うためにまとめの時間で活用した。この活用によって、日々の授業と授業のつながりを意識させながら授業実践を行うことができた。また、単元全体の学習内容と授業のねらいを確認させるために「単元マップ」を作成し、この活用によって、単元における学びのつながりを意識させて授業実践を行うことができた。昨年度の反省をもとに、今年度は「接続シート」の内容を簡潔にした「接続カード」を使用して、振り返りを意識した授業実践を行った。

1. 本時の振り返りを行い、授業の理解で良かった部分を記入しよう。
2. 本時の振り返りについて、自分の振り返り（自分の考え）を記入しよう。
(A) 授業に対する自分の振り返り（自分の考え）を記入しよう。 ● 授業に対する学習状況 (4・3・2・1) ● 授業への参加意欲 (4・3・2・1) ● 授業の理解度 (4・3・2・1)
(B) 本時の授業のポイントを書きましよう。(自分が思うポイントで大丈夫です)
(C) 本時の授業での疑問や質問、その他感想を書きましよう。

図1 「接続カード」

3 成果と今後の課題

(1) 研究の成果

昨年度に行った意識調査の結果から、活用したワークシートは「振り返り」と「見通し」に有効であり、生徒自身で学習過程を確認しながら記述することで、自ら学びをつなげることに役立つ。今年度もワークシートの活用と授業スタイルの改善によって学習意欲の向上につながったと考えられる。

(2) 今後の課題

昨年度の実践を基に、ワークシートの内容を改善し、授業を改善したが、すべての生徒が主体的に振り返り、疑問を解決しようとする態度が育成されているとは言えない。今後もこの実践を継続し、生徒が意欲をもって学習に取り組めるワークシートや授業作りを研究していくことが必要である。